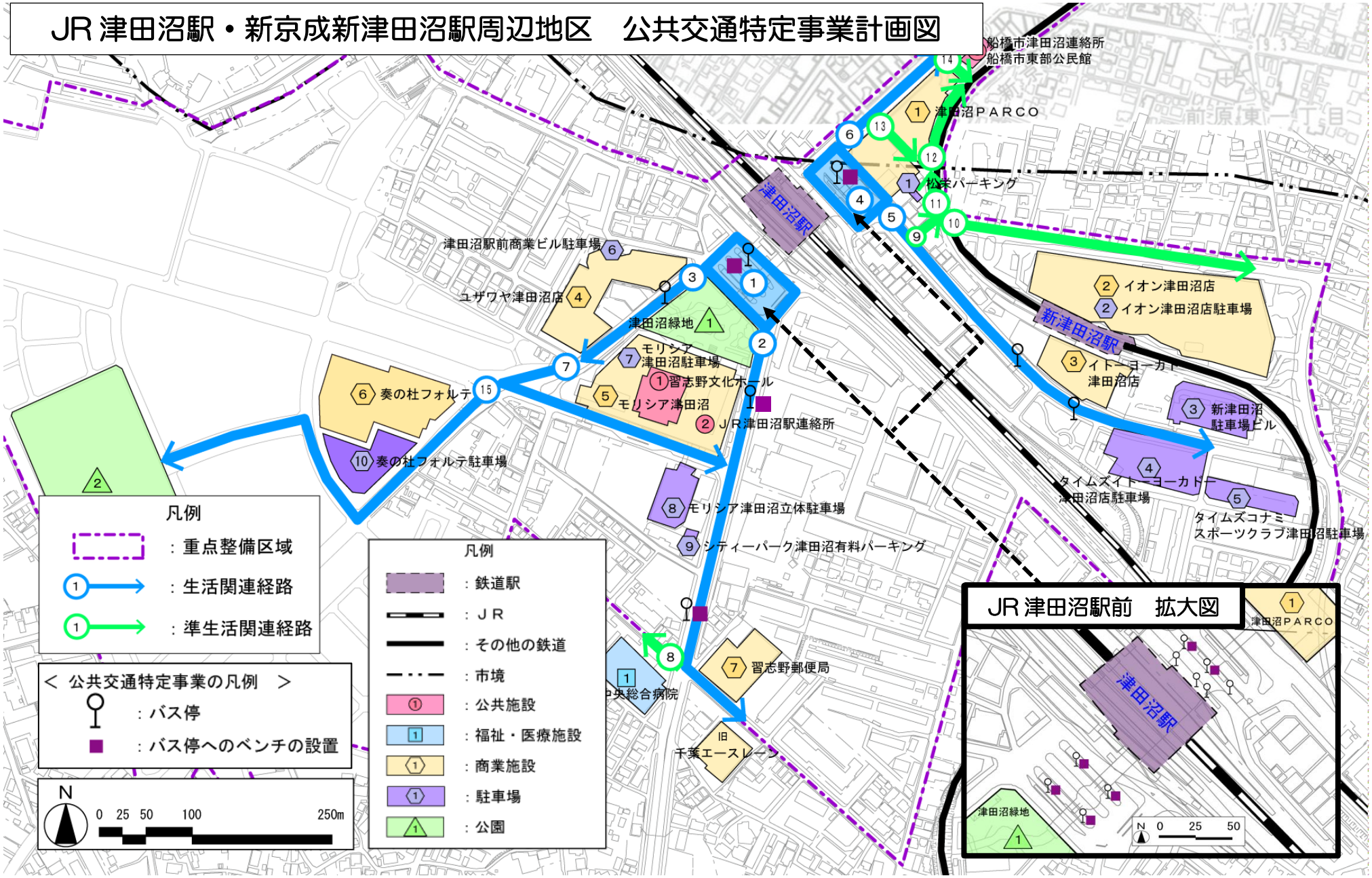
JR 津田沼駅・新京成新津田沼駅周辺地区　公共交通特定事業計画図



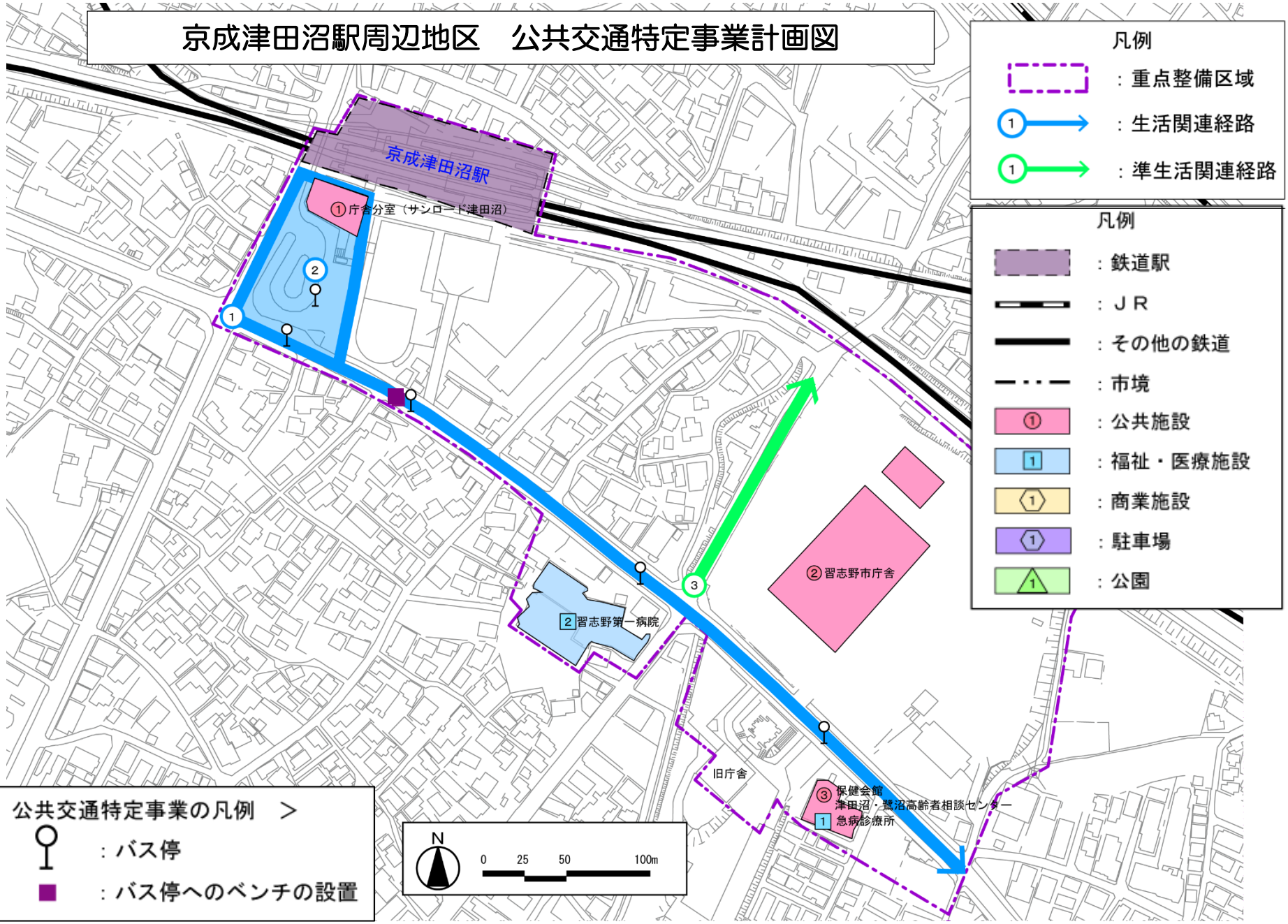
A：事業完了・計画どおり進行
B：概ね計画どおり進行
C：進捗しているが努力を要する
D：未着手
―：計画実施時期未到来

習志野市バリアフリー移動等円滑化特定事業計画進捗状況調査表（公共交通特定事業計画）

＜JR津田沼駅・新京成新津田沼駅周辺地区＞

旅客施設名・地区名	事業者	事業内容	事業量（延長/箇所数）	特定事業計画での実施予定時期		実施時期（年度）											令和4年度の具体的な取組内容
						前期						後期					
				着手予定	完了予定	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7	
JR津田沼駅	東日本旅客鉄道株式会社	バリアフリー教育研修を実施する	―	継続		A	A	A	A	A	A	A	A				バリアフリー教育研修を実施
新京成新津田沼駅	新京成電鉄株式会社	鉄道車両への車いすスペースの設置を行う	4編成（8箇所）	前期	後期	B	B	B	B	B	B	A					
	新京成電鉄株式会社	駅係員のサービス介助士資格取得及びサービス向上研修での教育を行う	年1回以上	継続		B	B	B	B	B	B	B	B				駅係員に対してサービス介助士資格を取得させた。また高齢者・障がい者への適切な対応を図るため、随時教育を行った。
JR津田沼駅・新京成新津田沼駅周辺地区	京成バス株式会社	バス停にベンチを設置する	ベンチ7基（バス停 8箇所）	前期	前期	A											
		ノンステップバスの導入を進める	66両（管轄内の車両のうち）	継続		A	A	A	A	A	D	D	A				新型コロナの影響による収入減で代替計画及び車両計画を変更。代替1両。減車0両
		乗務員への高齢者・障がい者等への対応を図るための教育を行う	―	継続		A	A	A	A	A	A	A	A				・入社時研修の中に、高齢者・障がい者等への対応研修が含まれている ・従業員が集まって実施する「小集団活動」等の中で、各乗務員、年に1回程度、高齢者疑似体験キットを身に着ける経験を通じて高齢者等の対応を学んでいる
	船橋新京成バス株式会社	ノンステップバスの導入を進める	24両（管轄内の車両のうち）	継続		A	A	A	A	A	D	D	B				新型コロナの影響で代替を延期していたが、2022年度より代替を再開。ノンステップバス2両の代替
		乗務員への高齢者・障がい者等への対応を図るための教育を行う	―	継続		A	A	B	B	A	B	A	B				年次教育計画に基づき高齢者・障がい者安全教習（車いす取り扱い教習を実施（鎌ヶ谷営業所：153名　習志野営業所：94名　合計247名）
	ちばレインボーバス株式会社	車内での停留所案内や筆談用具の設置等、情報を分かりやすく提供する	乗合全車両	継続		B	B	B	B	B	A	A	A				継続実施
		ノンステップバスの導入を進める	49両（管轄内の車両のうち）	継続		C	C	C	C	C	C	C	C				継続実施しているが、津田沼駅に乗り入れる車両の ノンステップ率は64%程度。
		乗務員への高齢者・障がい者等への対応を図るための教育を行う	年2回	継続		B	B	B	B	B	B	B	B				年間計画の中で定期的に実施
	京成バスシステム	バス停にベンチを設置する	1ヶ所	継続		C	C	C	C	C	C	C	C				・各所の旅客及び歩行者の動線・幅員等を考慮しながら検討。
		ノンステップバスの導入を進める	―	継続		B	B	B	B	B	B	B	B				・移動等円滑化の促進に関する基本方針を考慮しながら車両代替を進捗。
		乗務員への高齢者・障がい者等への対応を図るための教育を行う	―	継続		A	A	A	A	A	A	A	A				・全乗務員を対象とした集合教育等において、高齢者・障がい者等への対応を図るための教育を実施。
	平和交通	ノンステップバスの導入を進める	―	継続		B	A	A	A	A	A	A	A				ノンステップバス3台(土休日　4台)を固定配属中
		乗務員への高齢者・障がい者等への対応を図るための教育を行う	―	継続		A	A	A	A	A	A	A	A				全乗務員を対象に年間教育計画に基づいて実施。　入社時研修でも対応教育を実施。
	京葉支部区域内のタクシー事業者	福祉タクシー車両の導入を進める	―	前期	前期	D	D	C	B	B	B	B	B				令和4年度JPNTAXI導入5台
		ユニバーサルドライバー研修（タクシー乗務員バリアフリー研修）受講を推進する	年20～30名	継続		C	C	B	B	B	B	B	B				協会主導UD研修受講21名

京成津田沼駅周辺地区　公共交通特定事業計画図



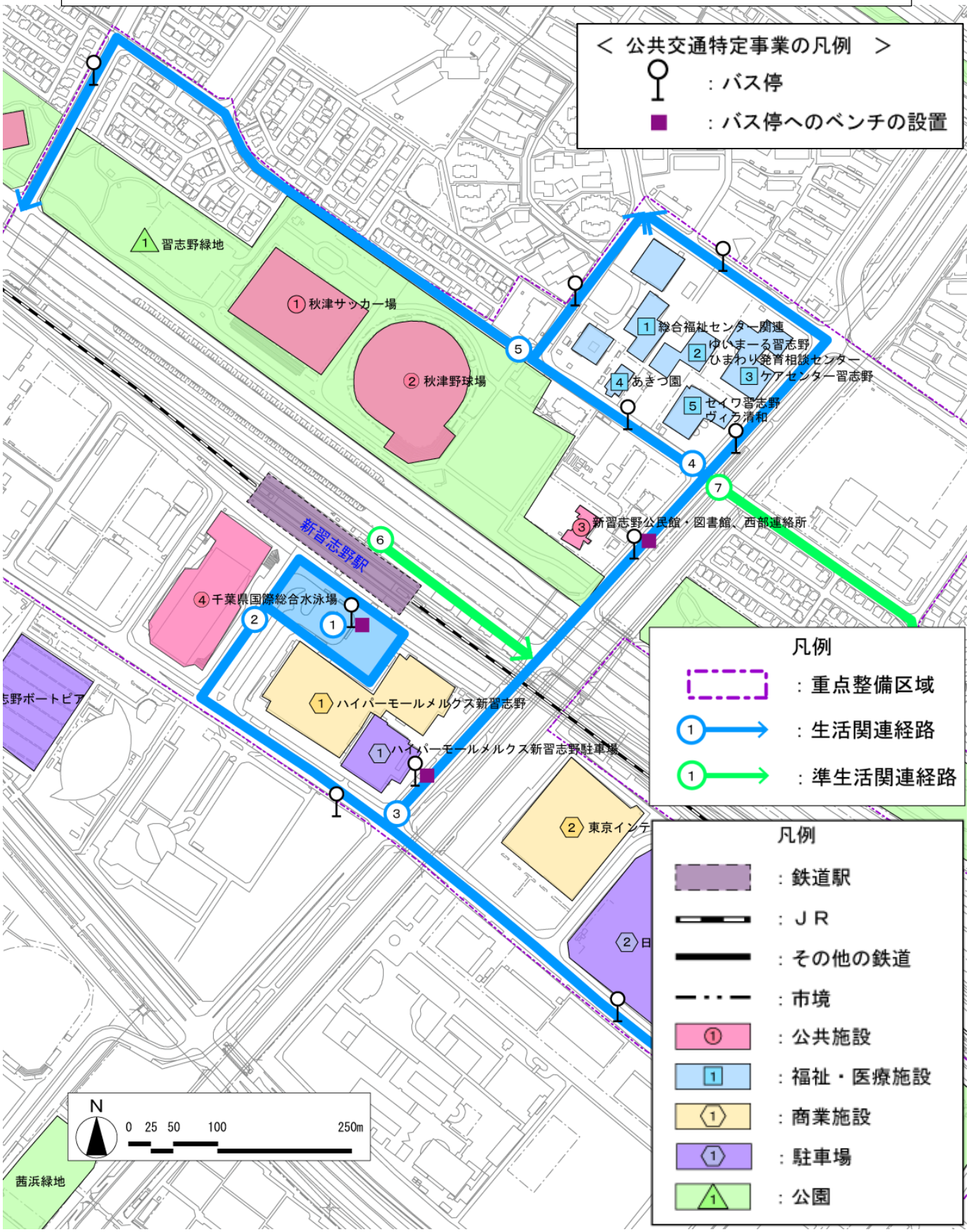
A:事業完了・計画どおり進行
B:概ね計画どおり進行
C:進捗しているが努力を要する
D:未着手
—:計画実施時期未到来

習志野市バリアフリー移動等円滑化特定事業計画進捗状況調査表（公共交通特定事業計画）

＜京成津田沼駅周辺地区＞

旅客施設名・地区名	事業者	事業内容	事業量（延長/箇所数）	特定事業計画での実施予定時期		実施時期（年度）											令和4年度の具体的な取組内容
						前期						後期					
				着手予定	完了予定	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7	
京成津田沼駅	京成電鉄株式会社	駅の各施設（発券機、トイレ、エレベーター、階段等）は高齢者、障がい者等にとって使いやすい構造とする	—	継続		B	B	B	B	A	A	A	A				特筆事項なし。今後も使いやすい駅整備を検討する。
		各情報を視覚情報・聴覚情報として分かりやすく提供する（路線案内、運賃案内、運行情報、非常時の案内等）	—	継続		B	B	B	B	A	A	A	A				掲示物等の設置や、駅係員による構内放送をはじめとしたわかりやすい情報の提供に努めた。
		鉄道車両への車いすスペースの設置を行う	—	継続		B	B	B	B	A	A	A	A				・車両の更新等に合わせて、一般通勤車両への車いすスペースの導入を継続。 (参考)2022年度末時点　実績 一般車両　78編成中73編成に車いすスペースを導入済み ・スカイライナーの車両の車いすスペースを1箇所から2箇所に増設。(2018年12月全編成完了)
		駅係員、乗務員への高齢者・障がい者等への対応を図るための教育を行う	—	継続		B	B	B	B	A	A	A	A				・職員による「サービス介助士」資格の取得を奨励し、社内研修の一環として取得講座を実施。(2005年より継続) ※2022年度末時点　取得割合 543人/567人(駅長含む全駅係員の人数で換算) ・「盲導犬ユーザー等対応講習」について、2022年4月に実施した。 ・視覚障がい者とのパネルディスカッション(現業長及び助役が参加)を2023年3月に実施した。
京成津田沼駅周辺地区	京成バス株式会社	バス停にベンチを設置する	ベンチ1基 （バス停　1箇所）	継続		D	D	D	D	D	D	D	D				実績なし
		ノンステップバスの導入を進める	66両 （管轄内の車両のうち）	継続		A	A	A	A	A	D	D	A				新型コロナの影響による収入減で代替計画及び車両計画を変更。代替1両。減車0両
		乗務員への高齢者・障がい者等への対応を図るための教育を行う	—	継続		A	A	A	A	A	A	A	A				・入社時研修の中に、高齢者・障がい者等への対応研修が含まれている ・従業員が集まって実施する「小集団活動」等の中で、各乗務員、年に1回程度、高齢者疑似体験キットを身に着ける経験を通じて高齢者等の対応を学んでいる
	京葉支部区域内のタクシー事業者	福祉タクシー車両の導入を進める	—	前期	前期	D	D	C	B	B	B	B	B				令和4年度JPNTAXI導入5台
		ユニバーサルドライバー研修（タクシー乗務員バリアフリー研修）受講を推進する	年20～30名	継続		C	C	B	B	B	B	B	B				協会主導UD研修受講21名

ＪＲ新習志野駅周辺地区　公共交通特定事業計画図



A：事業完了・計画どおり進行
B：概ね計画どおり進行
C：進捗しているが努力を要する
D：未着手
―：計画実施時期未到来

習志野市バリアフリー移動等円滑化特定事業計画進捗状況調査表（公共交通特定事業計画）

＜新習志野駅周辺地区＞

旅客施設名・地区名	事業者	事業内容	事業量（延長/箇所数）	特定事業計画での実施予定時期		実施時期（年度）											令和4年度の具体的な取組内容
						前期						後期					
				着手予定	完了予定	27	28	29	30	元	2	3	4	5	6	7	
JR新習志野駅	東日本旅客鉄道株式会社	プラットホームに、内方線付警告ブロック等、転落を防止するための設備の設置を行う。	―	H30年度	H30年度	D	D	D	A	A	A	A	A				整備完了済
		バリアフリー教育研修を実施する	―	継続		A	A	A	A	A	A	A	A				バリアフリー教育研修を実施した。
JR新習志野駅周辺地区	京成バス株式会社	バス停にベンチを設置する	ベンチ3基（バス停 9箇所）	継続		A											
		ノンステップバスの導入を進める	66両（管轄内の車両のうち）	継続		A	A	A	A	A	D	D	D				新型コロナウィルス感染症の影響による収支状況悪化に伴い、導入できず
		乗務員への高齢者・障がい者等への適切な対応を図るための教育を行う	―	継続		A	A	A	A	A	A	A	A				・入社時研修の中に、高齢者・障がい者等への対応研修が含まれている。 ・従業員が集まって実施する「小集団活動」等の中で、各乗務員、年に1回程度、高齢者疑似体験キットを身に着ける経験を通じて高齢者等の対応を学んでいる
	京葉支部区域内のタクシー事業者	福祉タクシー車両の導入を進める	―	前期	前期	D	D	C	B	B	B	B	B				令和4年度JPNTAXI導入5台
		ユニバーサルドライバー研修（タクシー乗務員バリアフリー研修）受講を推進する	年20～30名	継続		C	C	B	B	B	B	B	B				協会主導UD研修受講21名